

●事例・研究報告 12月10日(日)

第1会場
1号館
131講義室

<口頭発表> 9:30~ 発表時間1題 12分 質疑・交代時間 3分

【都市ランドスケープの展開】

9:30~9:45	1	東京都世田谷区におけるコミュニティサイクル「がやリン」の導入目的と利用実態の整合性に関する研究 植田奈津芽・小木曾裕	3
9:45~10:00	2	鎌倉の七里ガ浜分譲地における眺望と開発の実態から捉えたまちづくりの特徴に関する研究 石塚菜々子・小木曾裕	5
10:00~10:15	3	都心で定期開催されるマルシェの実態と都心における農産物直売についての考察 池田晃・秋田典子	7
10:15~10:30	4	都市再生特別地区の区域外貢献に関する研究 東京都の事例を参考に して 吉川柊・池田優太・大平華月・熊坂野乃葉・佐々木詠介・田口奈緒子・山崎晋	9
10:30~10:45	5	大学キャンパスにおける敷地境界の設置形態に関する研究 —東京都心部のキャンパスを対象として— 河野和輝・山崎晋	11
10:45~11:00	6	新設・移転庁舎の広場空間計画に関する研究-政令指定都市・中核都市を対象として- 森下源己・西山晃太・山崎晋	13
11:00~11:15	7	「東京のしゃれた街並みづくり推進条例」におけるイベント活用に関する研究—公開空地の活用率に着目して— 下田恵里・山崎晋	15
11:15~11:30	8	「屋内の公開空地における空間特性とイベント活用のあり方に関する研究」—東京のしゃれた街並みづくり推進条 例に着目して— 昼間駿一郎・赤松沙耶・芦名武尊・五十嵐弘大・小池凜・山崎晋	17
11:30~11:45	9	立地適正化計画における居住誘導区域内の交通実態に関する研究 —中心公共交通と都心駅からの距離に着目して— 加藤凜太郎・山崎晋	19
11:45~12:00	10	駅型保育園における園外保育の移動環境と重点整備地区との関係性に関する研究~東京都内の事例を対象として~ 岡田美佳・沼田悠杜・山崎晋	21
12:00~12:15	11	Based on the concept of horticultural therapy, the landscape design promotes communication ability of the disabled by strengthening the stimulation of the five senses. Ding Ma・藤田直子	23

●事例・研究報告 12月10日(日)

第2会場
1号館
132講義室

<口頭発表> 9:30~ 発表時間 1題 12分 質疑・交代時間 3分

【空間分析・評価の手法】

9:30~9:45	1	木質の保育・幼児教育における評価の実態と地理的傾向に関する研究 嶋田珠々・藤田直子	25
9:45~10:00	2	自転車音声ガイドの可能性の実験と自転車走行による体感的効果に関する実験 井本雅乃・藤田直子	27
10:00~10:15	3	Post-disaster social infrastructure allocation based on topographic analysis: Comparison of the Kumamoto and Sichuan earthquakes 周楊・藤田直子	29
10:15~10:30	4	点群を用いた精密 3次元測量における造園空間への応用可能性に関する研究 菅井一樹・鈴木雅和・國井洋一	31
10:30~10:45	5	Ghost of Tsushima におけるゲームシーンのシーン景観に対する定量指標と主観評価の関連性について 梅笑寒・國井洋一	33
10:45~11:00	6	景観分析による箱根方面の山岳道路に対する分析について 半沢千・國井洋一	35
11:00~11:15	7	騒音を交えた都市部の公園の音環境の現況調査と比較から導く騒音の活用方法の考案 武田純・張平星	37

●事例・研究報告 12月10日(日)

第3会場
1号館
133講義室

<口頭発表> 9:30~ 発表時間1題 12分 質疑・交代時間 3分

【造園空間の管理・運営】

9:30~9:45	1	グリーンフラッグアワードを活用した英国の公園管理の実態 植田奈津芽・小木曾裕伊佐津愛澄・秋田典子	39
9:45~10:00	2	森林資源の有効利用を通じた首都圏近郊林の管理促進のあり方について—千葉県における木の駅プロジェクトに着目して— 小林晴香・秋田典子	41
10:00~10:15	3	東京都府中市における大規模施設緑地の利用実態に関する研究 玉田幹悟・秋田典子	43
10:15~10:30	4	The Effect of Regular Visits to Third Places for Retirement Adjustment: A Case Study of Korakuen Garden in Okayama ハンセンマックス・藤田直子	45
10:30~10:45	5	南池袋公園の再整備・維持管理が周辺エリアに与える影響に関する考察 山岸史弥・寺田徹	47
10:45~11:00	6	コロナ禍における六義園六義園の SNS 発信実態に関する研究 安田有希・押田佳子・照井進介・竹村太喜	49
11:00~11:15	7	Park-PFI の適用が効果的な小公園の立地特性—北谷公園の事例による考察— 青石颯一郎・湯浅かさね	51

●事例・研究報告 12月10日(日)

第4会場
1号館
134講義室

<口頭発表> 9:30~ 発表時間1題 12分 質疑・交代時間 3分

【都市環境の整備と保全】

9:30~9:45	1	大都市圏郊外都市におけるタヌキとハクビシンの接触確率の予測 小暮真暉・寺田徹	53
9:45~10:00	2	不耕起湛水栽培による市民参加型の稲作試行実験 加藤真司・平田富士男・札埜高志	55
10:00~10:15	3	「農」を活用した出所者等への支援実態の解明 前田早貴・雨宮護	57
10:15~10:30	4	The Circumstances and Characteristics Analysis of Care farming Engaging in The Combination of Agriculture and Care in Japan Tian Zile・藤田直子	59
10:30~10:45	5	Cultural heritage and region's Identity through Farmer's Guest Houses By the means of Biophilic Design Linda Gadhoum・藤田直子	61
10:45~11:00	6	都市部における公共空間の農的活用に関する研究 -台湾・高雄市の事例による考察-- 湯浅かさね・讃岐亮・楊詩弘・孫冰玉	63
11:00~11:15	7	高齢者施設の屋外空間を活用した都市型農園に関する研究 -武蔵野市の事例による考察-- 福田晴菜・湯浅かさね	65
11:15~11:30	8	都市再生特別地区の環境貢献に関する研究-屋外空間の整備を中心として- 香取潤・山崎晋	67

●事例・研究報告 12月10日(日)

第5会場
1号館
135講義室

<口頭発表> 9:30~ 発表時間1題 12分 質疑・交代時間 3分

【多様な空間の変遷(前半6発表)】

9:30~9:45	1	昭和戦後期以降の日比谷公園における評価の変遷に関する研究 小川田千夏・押田佳子	69
9:45~10:00	2	旭山動物園再生計画以降における展示の変遷が地域内外に及ぼす影響に関する研究 齊藤琉生・押田佳子	71
10:00~10:15	3	東京都恩賜上野動物園における展示の変遷に関する研究 村山七菜・押田佳子	73
10:15~10:30	4	三内丸山遺跡大型掘立柱跡に対する遺構解釈と「六本柱」復元方針の決定過程 脇園大史・伊藤弘	75
10:30~10:45	5	1873年の太政官布達公園とウィーン万博日本庭園 - 現代公共日本庭園「シビック・ジャパニーズガーデン」としての歴史と現代的意義 - 鈴木誠	77
10:45~11:00	6	エクトール・ギマールによるアール・ヌーヴォーデザインのパリ・メトロの出入口に関する現代的評価に関する研究 小木曾裕	79

【非日常下におけるランドスケープの展開(後半5発表)】

11:00~11:15	1	鳥取県北栄町「コナンのまちづくり」にみるアニメツーリズムの実態に関する研究 池田那月・押田佳子	81
11:15~11:30	2	我が国におけるご当地マラソン大会の現状に関する研究 保田皓生・押田佳子	83
11:30~11:45	3	神奈川県藤沢市における産官学民が連携したガストロノミーツーリズムとランドスケープアプローチへの展開 小島仁志・原悠樹・宮田佳美	85
11:45~12:00	4	地下足袋での森林散策が散策中の自然認識と散策体験に与える影響-散策中の気分別での比較を通じて- 深澤陸・大塚啓太・中村和彦	87
12:00~12:15	5	防災教育副読本における被災体験談の活用実態に関する基礎的研究 加藤颯人・押田佳子	89

●事例・研究報告 12月10日(日)

第6会場
1号館
142講義室

<口頭発表> 9:30~ 発表時間1題 12分 質疑・交代時間 3分

【群馬におけるランドスケープの取組み】

9:30~9:45	1	藤岡北高等学校のヤリタナゴ保護活動 三木日葵・加藤龍登・新井葵・大野仁義・新井健司・高橋一彰	91
9:45~10:00	2	アメリカザリガニのモニタリング調査 堀越康介・設楽心愛・斎藤汐音・山口ここ・高橋一彰・新井健司	93
10:00~10:15	3	ヤリタナゴ保護活動とコミュニティ形成の関連 新井健司・森田哲夫	95
10:15~10:30	4	藤岡市の公園における樹木構成の調査研究 嶋崎千恵・富岡美結・高橋袖衣・駒出優・小輪瀬月那・武田奈津希・田中雅紀・新井健司	97
10:30~10:45	5	公園のバリアフリー化の取組み 塚本叶夢・一倉陽和・星野美結・二宮恵美香・梶谷ほのか・田中雅紀・新井健司	99
10:45~11:00	6	コンパクトな都市構造におけるグリーンインフラに関する研究 出口妃子・森田哲夫	101
11:00~11:15	7	山村地域における住民のデジタルサービス利用意向に関する研究 篠原蓮・森田哲夫	103
11:15~11:30	8	樹林墓地供用前後の墓地需要特性の変化 九岡大輝・森田哲夫・塚田伸也	105
11:30~11:45	9	高校と連携した地域活動の評価 松田拓也・新井健司・田中雅紀・森田哲夫	107
11:45~12:00	10	みどり市を事例とした景観調査と景観まちづくり活動 塚田伸也・町野香歩・森田哲夫	109

●事例・研究報告 12月10日(日)

ポスター会場
1号館
141講義室

<ポスターセッション>9:30~14:00 (コアタイム:12:15~13:00)

- | | | |
|----|---|-----|
| 1 | 横浜市における農園付き公園の農的活動の場としての管理運営の実態と課題 —マネジメント形態の類型化と先行事例の分析—
許国麟・柳井重人 | 111 |
| 2 | 高経年住宅団地における生活環境の改善のための食と緑の活動の実態と課題
田中美有・柳井重人 | 111 |
| 3 | オーナー制度棚田の草地におけるセイタカアワダチソウの生育分布とその成立要因について
澤田英紀・小谷幸司・浅田大輔・小島仁志 | 111 |
| 4 | UAV 及び 3D 都市モデルを用いた環境情報の可視化について
吉野颯太・國井洋一 | 111 |
| 5 | 高経年集合住宅団地の屋外共用空間における居住者の植物栽培活動に関する認識
丸森さおり・柳井重人 | 112 |
| 6 | 松戸市における「緑の再発見ツアー」の運営実態と参加者の緑に関する地域資源への認識
王千豪・増木宏行・柳井重人 | 112 |
| 7 | 家庭用コンポストを利用した堆肥の市民ニーズとその性能評価～コンポスター環を事例として～
多和田万葉・小谷幸司・小島仁志 | 112 |
| 8 | 東京都江東区における水辺空間の整備と活用の変遷
小島優祐・柳井重人 | 112 |
| 9 | 滞在快適性等向上区域にて再整備された都市公園における滞在者の利用行動に関する研究—愛知県岡崎市籠田公園・中央緑道およびその周辺を対象として—
鈴木大士・柳井重人 | 113 |
| 10 | TLS における反射率を用いた樹木衰退度診断への応用
山崎雅治・國井洋一 | 113 |

●事例・研究報告 12月10日(日)

ポスター会場
1号館
141 講義室

<ポスターセッション>9:30～14:00 (コアタイム:12:15～13:00)

- | | | |
|----|--|-----|
| 11 | Web アンケートによる飼い犬を連れた来訪者と一般来訪者の公園利用に対する意識と課題解決に関する研究
安岡樹里・小谷幸司・小島仁志 | 113 |
| 12 | 城址を構成する4つの要素の面積比較・地形区分・用途地域を用いた城址の残存状況の類型化の試み
松村優希・篠沢健太 | 113 |
| 13 | 新型コロナがもたらした自粛生活が児童たちの遊び方に与えた影響～緊急事態宣言発出以前と、現在の生活に注目して～
濱田淳乃介・小谷幸司・小島仁志 | 114 |
| 14 | 棚田畦畔草地におけるニホンアカガエルの幼若期・成体期の生息生態について
荒澤圭太・浅田大輔・小谷幸司・小島仁志 | 114 |
| 15 | 都心におけるマルシェの出店者に関する実態調査
池田晃・玉田幹悟・藤井麗紗・伊佐津愛澄・秋田典子 | 114 |
| 16 | 国内の放鷹技術を活用した事業・活動の実態と社会ニーズ拡大に向けた課題整理に関する研究
大倉悠・小谷幸司・小島仁志 | 114 |
| 17 | 横浜市都市部の遊休農地における雨水流出抑制機能に関する研究
大崎鈴奈・福岡孝則 | 115 |
| 18 | 樹木葬墓地の空間設計・利用実態の把握による今後の埋葬形態の展望の考察
今泉優子・藤田直子 | 115 |
| 19 | A Study on the Cultural Landscape Related to a Preserved Food Called “Sendango” in Tsushima Island, Nagasaki
ZHOUYUXIN・藤田直子 | 115 |
| 20 | 地域住民が感じる街路樹の価値認識に関する基礎的研究
古旗泰岳・入江彰昭・茂木もも子・町田怜子・濱泰一 | 115 |

●事例・研究報告 12月10日(日)

ポスター会場
1号館
141 講義室

<ポスターセッション>9:30~14:00 (コアタイム:12:15~13:00)

- | | | |
|----|---|-----|
| 21 | VR ランドスケープ空間における高精度レンダリングの必要性及び注目点に関する研究
陸雨浩・福岡孝則・國井洋一 | 116 |
| 22 | 前橋市中心市街地における研究活動1
前橋工科大学環境・都市デザイン/ランドスケープ・アーキテクチャ研究室
・杉浦榮 | 116 |
| 23 | 前橋市中心市街地における研究活動2
前橋工科大学環境・都市デザイン/ランドスケープ・アーキテクチャ研究室
・杉浦榮 | 116 |
| 24 | 茨城県におけるサクラの巨木分布
森悠大・金澤弓子 | 116 |
| 25 | 軽井沢別荘地景観が観光資源となっている要因に関する研究 一別荘地の道路沿い樹木と道路幅員を視点として一
橋野佑生・畑中梨紗子・湯澤泉実・小木曾裕 | 117 |
| 26 | 落ち葉を用いた雨庭多機能化の試み
相澤章仁・長野龍平・伊東雄樹 | 117 |
| 27 | オープンスペースにおける利用者の滞在場所に関する研究
高森万貴・相澤章仁 | 117 |
| 28 | 「星景」の発見:構図分析による新たな風景の理解
児玉駿吾・雨宮護・鈴木雅和 | 117 |
| 29 | 神戸市東遊園地におけるグリーンコミュニティ形成と公園特性に関する研究
湯田蓮力・福岡孝則 | 118 |
| 30 | 雨水流出抑制効果を考慮した GI 導入モデルの適用に関する研究 一
世田谷区谷沢丸子川流域を対象として一
謝定・福岡孝則 | 118 |

●事例・研究報告 12月10日(日)

ポスター会場
1号館
141講義室

<ポスターセッション>9:30～14:00 (コアタイム:12:15～13:00)

- | | | |
|----|---|-----|
| 31 | 森林内で室内楽形式の音楽演奏を行う「林内楽」の実践的検討
中村和彦・藤原章雄・齋藤暖生・羽田健志・松本圭二・前春見・山島有喜・
福井大・斎藤馨 | 118 |
| 32 | ガーデンツーリズム登録制度の課題と可能性
藤井登夢・三友奈々 | 119 |
| 33 | 久屋大通公園における広場空間と店舗の関係性
深谷貫士・三友奈々 | 119 |
| 34 | 妖怪文化からみるアニメ『夏目友人帳』の世界観とロケ地観光ステーク
ホルダーの認識との関わり
呉姝玥・劉銘・中村和彦 | 119 |
| 35 | 神奈川県立公園における利用者満足度要因の解析と利用者ニーズに関
する研究
新井那槻・小谷幸司・小島仁志・佐藤雄一 | 119 |
| 36 | 国営公園における植物発生材活用の取り組み実態と課題 ～国営公園
3事例のケーススタディ～
佐々木圭・平松玲治 | 120 |
| 37 | お茶の水アートピクニックにおける道路空間及び公開空地の活用実態
に関する研究
瀧ちとせ・山崎晋 | 120 |

資料

公益社団法人 日本造園学会 関東支部

- | | | |
|---|---|-----|
| 1 | 公益社団法人日本造園学会関東支部 2022年度支部総会 議案書 | 121 |
| 2 | 公益社団法人日本造園学会関東支部
2023年度支部運営委員会(第1回-第3回)議事録 | 130 |
| 3 | 2023年度 公益社団法人日本造園学会関東支部大会
事例・研究報告集 執筆要領 | 138 |
| 4 | 2022年度・2023年度 公益社団法人日本造園学会関東支部 役員名簿 | 142 |
| 5 | 公益社団法人日本造園学会関東支部 運営規則 | 143 |

民産官学連携の地域まちづくり「めぶく。前橋」

1. 趣 旨

日本造園学会関東支部では、支部大会を前橋工科大学にて開催することに伴い、民産官学連携の地域まちづくり「めぶく。前橋」をテーマとした公開シンポジウムを実施する。

これに先立ち、見学会・現地セッションでは、前橋市の中心市街地の憩い空間である広瀬川・馬場川の再整備、坂東太郎との愛称で親しまれる利根川が結んだ、緑の拠点である前橋公園（臨江閣）・敷島公園の計画や管理運営について深めるために企画する。

2. 実施内容

(1) 開催日時 2023年12月9日（土）10:00～16:30

(2) 場 所 群馬県前橋市内

(3) 定 員 造園学会会員、一般、関連団体、学生等
約 30 名程度

(4) 行 程

10:00 集合（前橋駅南口）

10:15-11:30 民産官学連携の地域まちづくり（中心市街地）

- ・ 県庁－前橋駅のけやき並木
- ・ 馬場川通り（白井屋ホテル、アーツ前橋）
- ・ 広瀬川河畔緑地（前橋文学館、まえばしギャラリー）

12:00-14:00 裾野は長し赤城山がつくる前橋の風景（昼食・休憩を含む）

- ・ 道の駅（赤城の恵み）
- ・ 嶺公園（樹林墓地）

14:30-16:15 坂東太郎「利根川」が結ぶ緑の拠点づくり

- ・ 敷島公園（松並木、バラ園、Park-PFI）
- ・ 前橋公園（臨江閣、るなばあく、さちの池）

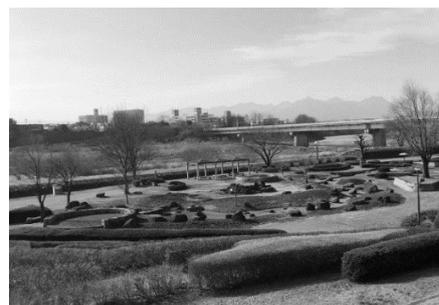
16:30 解散（前橋駅南口）



コーディネーター： 飯塚佳雄（前橋市都市計画部長）
塚田伸也（前橋市東部建設事務所長）

3. 見学会参加費（貸切バス代、保険料として）

学会員 3,000 円、非会員 4,000 円、学生 1,000 円



4. 参加申し込み

関東支部大会の事前参加申し込みのページでお申し込みください。

<https://jilakanto2023maebashi.peatix.com/>

民産官学連携の地域まちづくり「めぶく。前橋」

1. 趣 旨

近年の日本では、地域の活性化・空き地空き家問題・コミュニティの醸成など、いずれの分野の課題にも官のみならず民産学の連携が欠かせない現状がある。

今年度、支部大会を開催する群馬県前橋市では、官民の連携で作成したアーバンデザインのもとで、中心市街地の中小河川を活かしたまちづくりの取組みや民主体の再開発事業の取組みなど、ランドスケープが持つ機能を活かした民産学との連携した先進的な取組みが行われており、民産官学連携の地域まちづくり「めぶく。前橋」をテーマに公開シンポジウムを企画する。

基調講演は、ランドスケープアーキテクチャーが、次世代の地域やまちづくりへの展開や役割について、実践的な試みや遂行するプロジェクトなどを交えて紹介する。また、農業系高校生が仕掛けるみどりのまちづくり、民間が主体となった地域の魅力づくりの取組み、みどりの担い手である造園職能からのまちづくりの実践、デジタルグリーンシティとしてのまちづくりの展望といった話題提供を通じた総合討議を行い、民産官学が連携したランドスケープデザインのあり方を深めていきたい。

2. 実施内容

(1) 開催日時 2023年12月10日(日) 14:00～16:30 (開場: 13:40)

(2) 場 所 前橋工科大学 1号館5階151講義室

(3) 定 員 150名程度

(4) 参加者 支部大会参加は大会参加費が必要。公開シンポジウム聴講のみは無料。

(5) 内 容

・開会挨拶 日本造園学会関東支部大会実行委員長 森 田 哲 夫 (前橋工科大学 教授)

・基調講演: ランドスケープアーキテクチャーによる地域まちづくり (50分)

前橋工科大学准教授 杉 浦 榮

・話題提供 (各10～15分間程度)

- | | | |
|------------------------------|--------------------|---------|
| 1. 高校生によるみどりのまちづくり | 群馬県立藤岡北高等学校教諭 | 田 中 雅 紀 |
| 2. 民間による地域の魅力づくり | 前橋まちなかエージェンシー 代表理事 | 橋 本 薫 |
| 3. ランドスケープと造園職能 | 紅陵造園株式会社 代表取締役 | 山 宮 衛 |
| 4. デジタルグリーンシティ「めぶく。前橋のまちづくり」 | 前橋市長 | 山 本 龍 |

・総合討論 (40分): 基調講演者・話題提供者・参加者

進行: 塚 田 伸 也 (前橋市東部建設事務所長)

・閉会挨拶 日本造園学会関東支部支部長 木 下 剛 (千葉大学大学院 教授)

総合司会: 関東支部大会副実行委員長 清 水 一 也 (日本造園修景協会群馬支部長)